

平成22年度 二松学舎大学 日本漢文教育研究プログラム 公開講座

平成22年度日本漢文教育研究プログラムが開催する特別講義等は、日本漢文学研究又は漢文文献の調査・整理に関心を持つ若手研究者及び書誌調査の専門技能者を育成する講座です。受講対象者は、学内外の大学院生及び院生レベルの若者を主とし、他に一般社会人等にも、講義あるいは講習等を通じて必要な基礎知識と技能を身につけていただくことを目的としています。

◆受講料： 無料 ◆対象者： 学生、研究者、教員、図書館員及び一般の方 ◆会場： 本学九段校舎

◆応募締切等： 各講座の開始1週間前 [A:特別講座(1・2)は、受講申込により、定員になり次第締切ます。]
[B:集中・演習講座(3～8)は、受講許可の選考を行います。]

◆申込・問い合わせ先： 二松学舎大学日本漢文教育研究プログラム事務局 〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16 (九段校舎)
TEL: 03-3261-3535 Fax: 03-3261-3536 e-mail: kanbun-1@nishogakusha-u.ac.jp URL: http://www.nishogakusha-kanbun.net

講座名		内容	講師	所属	期間・時限等	募集人員
特別講座	1 江戸の漢文	前年度に引き続き、江戸時代から明治初期にかけて日本人が書いた漢文作品を読む。テキストは、主として二松学舎大学21世紀COEプログラム編『日本漢文』を用い、ほかに関連する日本人及び中国人の作品を随時プリントで補う。	佐藤 保	本学顧問 前理事長	月曜日 6時限 前期・後期	締め切りま した。
	2 江戸の漢詩	江戸時代は、日本における漢詩の“空前絶後”の繁栄期である。260年の江戸時代を、四期に分け、それぞれの時期の代表的な作品を解説し・鑑賞しながら、その発展の様相を見、併せて日本漢詩の独自性が那辺に在るかを考え、今年は、後期(最盛期)の詩を見る。	石川 忠久	本学顧問 元学長	木曜日 6時限 *注3	締め切りま した。
集中講座	3 朔旦冬至賀表を読む	朔旦冬至とは、冬至と十一月朔とが同日となることを言い、このとき宮中では祝賀の行事が行われた。日本では延暦三年に始まるこの行事の中心は、一日の早旦に賀表を天皇に奉ることにあり、その賀表の執筆は筆頭の儒者が担当する慣わしとなっていた。本講座では、平安時代の朔旦冬至賀表の読解を通して、当時の漢学の知識体系を探ることにしたい。	佐藤 道生	慶応義塾大 学教授	8/30～9/2 13:00～16:20	締め切りま した。
	4 漢籍書誌調査の一端―表紙と分類―	漢籍書誌調査の実務面から、表紙と分類について述べる。表紙には見過ごせない幾つかの書誌情報が示めされている。表紙の何処に留意しどのように考えれば良いか、実例を示しながら述べてみたい。後半では書物をどの部・類・属に分類すべきか、実例を基に解説したいと思っている。	高橋 良政	日本大学 教授	土曜日 ①12/11 2・3・4 時限 ②12/18 3・4 時限	締め切りま した。
演習講座 *(本学 授業 科目)	5 漢籍書誌学	漢籍の目録作成と解題執筆を通じて、漢籍書誌学の基本を学習する。実物を手に取り、版面の比較、調査カードの記入など、実践的な演習を行う。	高山 節也	本学 教授	水曜日 6時限 前期・後期	締め切りま した。
	6 古文書解読講座	江戸～明治期の儒者・医者など、漢字漢文に素養のある人々の、書簡・日記・書幅などの肉筆資料を中心に読解していく。一般に漢籍と違って、国書では書写資料の占める割合が非常に高く、ことに江戸～明治期の漢詩漢文は、同好者間に小部数流通した場合が多く、この分野を扱う以上、書写資料の読解は避けて通れない。多くの資料に触れて、当時の書体・用字・用語に習熟して欲しい。	町 泉寿郎	本学 准教授	火曜日 7時限 前期・後期	締め切りま した。
	7 『中世随筆』の研究	鴨長明・ト部兼好の作品を取り上げ、中世随筆の特色を文体の方から究明していく。長明の『方丈記』は慶滋保胤の『池亭記』の影響を強く受けており、漢文訓読的な文体を有する。それに対して兼好の『徒然草』は、『源氏物語』・『枕草子』等の影響を受けて、和文のかった様相を呈している。その両者を取り上げることによって、現代の文体にまで及ぶ我が国の文体史の初めをきわめていこうというのが本講座である。	磯 水絵	本学 教授	水曜日 2時限 前期・後期	締め切りま した。
	8 古訓読解演習	現行の漢文訓読法は返り点や送り仮名の標準化に大きな寄与をしたが、それだけでは実際の刊本や写本に付された訓を読みこなすことができない。そこで、寛文年間刊「六臣注文選」を教材にし、古訓読解の演習を行いつつ、中国語学と国語学との両面から考察を進める。(受講生は演習担当が義務)	佐藤 進	本学 教授	火曜日 4時限 前期・後期	締め切りま した。

注) 1. 開講時間 = 2時限：10:50～12:20 3時限：13:00～14:30 4時限：14:50～16:20 6時限：18:20～19:50 7時限：20:00～21:30

2. 前期・後期 = 前期：4/12～7/16の15回 後期：9/21～12/24・1/8～1/31の15回

3. No.2「江戸の漢詩」の開講予定日 = 前期：4/22, 5/13, 5/20, 5/27, 6/10, 6/17, 6/24, 7/8, 7/15, 7/22 (10回)
後期：9/9, 9/16, 9/30, 10/7, 10/21, 10/28, 11/11, 11/25, 12/9, 12/16 (10回)

4. 開講日等 = 開講予定日・教室は、講師及び学内行事で変更することがあります。

また、夏期休業は 8/3～9/20、冬期休業は 12/25～1/7 です。

注) 時限の時間が 昨年度と変わっております。